

平成27年9月：第395回 大野市議会定例会

一般質問 9月7日（月） 午前

質問者	質問方式	質問概要
廣田（立志会）	一問一答方式	<p>1 越前おおの型農業について</p> <hr/> <p>○ 多様な担い手の確保と育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者、新規就農者数は目標通り達成できるのか。 ・作業補助員の担い手不足も深刻な状況だが対策はあるのか。 <p>○ 農産物の総ブランド化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県米「夢ごち」がJ A全農を通じ中国へ初輸出されるがT P P対策として輸出による販路拡大を関係機関と協議されているのか。 ・ふるさと納税における人気商品で、2位が米であるが、大野市のふるさと納税での取り組みはどのようなものか。 ・重点道の駅「（仮称）結の故郷」における農産物のブランド化に対する取り組みは、ワーキンググループで協議されているのか。 <p>○ 安全・安心な農産物の提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害の発生予測や、一斉防除による農薬散布回数の削減についてどのような対策をとっているのか。 ・自然環境の変化により栽培技術の更新、適正品種の策定など、栽培試験が重要になっているが、農業試験場など研究機関の誘致は可能か。
宮澤（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 平成の大合併について</p> <hr/> <p>○ 旧和泉村との合併をどのように評価し、今後どのように方向付けをするのか。特に公共施設の存続はどうか。</p> <p>2 本市の自然の美への対応について</p> <hr/> <p>○ 本市の自然の美に対して、観光や産業面から今後どのように対応していくのか。山は誰が管理しP Rするのか。道の駅と産業、特に農業をどのように繋げるのか。</p> <p>3 公職選挙法の改正に伴う関係事項について</p> <hr/> <p>○ 選挙権の年齢が引き下げられることに対し小・中・高の児童・生徒にどのような教育や事業を考えているのか。また、教員への指導はどうか。</p> <p>○ 成人式の対象者について、満18歳と満20歳をどのように考えるのか。</p>

一般質問

9月7日（月） 午後

質問者	質問方式	質問概要
川端（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 第五次大野市総合計画後期基本計画と大野市人口ビジョン、総合戦略の策定について</p>
		<p>○ 後期基本計画、ビジョン、総合戦略の素案を取りまとめ、計画の根本となる平成32年の目標人口を32,000人と設定をされた考え方についてお尋ねする。</p>
		<p>2 農業行政について</p>
		<p>○ 第五次大野市総合計画後期基本計画素案の中の基本施策の一つである「越前おおの型農業の推進」については、施策の変更や追加がない。そこで今後T P Pの動向も見据えて越前おおの型農業をどのように推進していくのかお尋ねする。</p>
		<p>3 六呂師高原の振興について</p>
<p>○ 六呂師スキー場を運営していた六呂師高原協業組合が平成24年12月に自己破産を申し立て、スキー場は閉鎖となり、ホテルと一体的な運営をしていた「うらら館」も休止になったことから、六呂師高原への観光入込客数が大きく減少しているわけであるが、今回、六条メディカルシステムズと売買契約が結ばれ、土地についても別途売買が行われ、債権の問題が解決したことから市として、「うらら館」の再開を早期に検討していただきたい。また、これからの六呂師高原全体の活性化に向けた考え方と動向などについてお尋ねする。</p>		
<p>4 文化会館について</p>		
<p>○ 文化会館については、本年4月に在り方検討委員会から、その在り方と今後の方向性に関する報告書が提出され、改築により整備を行うべきとの内容であり、市としても民間の活力を活用するP F I方式やP P P方式なども視野に入れて今後検討したいとのことであったが、今後改築に向け具体的にどのように取り組まれる考えなのかお尋ねする。</p>		
榮（日本共産党大野市議団）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市小中学校再編計画について</p>
		<p>○ 小中学校と地域の関係と自治体（教育委員会）との関係について。 ○ 大野市小中学校再編計画（素案）の説明会に対する市民の反応・市民からの意見をどのように教育委員会は受け止めているのか。 ○ 大学改革に対応できる生徒の教育の視点と、大野市教育理念の「育てよう、大野人」の関係について。 ○ 「大野市小中学校再編計画」と「公共施設の再編計画」とまじりあうのは、不本意だとの市長の答弁だが、実質的には、自治体が地域から学校を取り上げていくことになるのではないか。</p>
		<p>2 農業問題について</p>
<p>○ 農協「改革」法案（農業協同組合法等の一部改定案）について。 ○ 農業委員会制度の公選制廃止についての農業・農村への影響について。</p>		

質問者	質問方式	質問概要
高田（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 第五次大野市総合計画後期基本計画（素案）について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意識調査アンケートの結果概要における大野市の現在のイメージについて。 ○ 意識調査アンケートの結果概要における将来、大野市が活気のあるまちになるために必要なものの都市基盤について。 ○ 重点プロジェクトにおける観光の振興について 人情味あふれるもてなしの心とあるが、もてなす側に統一感（具体的な言動）を図ることはできないか。 ○ 戦略的な観光の推進について 課題の滞在型観光の推進における平成 26 年度の現状は。また新しいイノベーションは。 公共交通機関での観光入り込み客数の割合は。
		<p>2 大野市総合戦略（素案）について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「新しいひとの流れをつくる」関連について 日本版 C C R C の考え方は。 また、事業化に向けての考えは。

質問者	質問方式	質問概要
野村(日本共産党大野市議団)	一括質問・答弁方式	<p>1 使用済み核燃料、放射性廃棄物最終処分施設について</p> <p>○ 原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分地について、資源エネルギー庁が6月26日に福井市内で自治体向けに説明会を開いたが出席したか。どのような説明会だったか。</p> <p>○ 市は、候補地にと打診があった場合どのように対応するのか。</p>
		<p>2 奨学金の改善について</p> <p>○ 市の奨学金制度の内容は、今の実情からすると、少ないのでは。高校・大学、進学に掛かる受験費用・入学金・授業料・学校外活動費、自宅外通学の場合はさらに、敷金礼金・家賃・生活準備費用等、掛かる費用からすると、さらに拡充する必要があると考えるが、市の考えは。</p>
		<p>3 マイナンバー制度について</p> <p>○ 「マイナンバー制度」とはいかなるものか。目的や特徴など「住基ネット」との違いも含めて、お答えください。</p> <p>○ マイナンバー制度に対する市民の理解はどのくらいあるのか。周知徹底の方法は。</p> <p>○ 導入にあたり市や企業の業務及び費用の負担は。</p> <p>○ 居住地と住民票の住所が違う場合の対応策は。現在市内では何軒あるのか確認できているか。</p> <p>○ 市として個人情報保護及び情報漏洩・ハッカー対策はどのようにお考えか。個人が管理する際の注意点・留意点、また紛失したときなどの対策は。</p> <p>○ 個人番号(マイナンバー)カード申請では、郵送とオンラインの二通りできるとのこと。しかし、高齢者や身体障害者など、申請することが難しい方へのサポートは。</p>
梅林(創生おおの)	一括質問・答弁方式	<p>1 市長の水政策に対する政治姿勢について</p> <p>○ 「水の聖地」としての水ブランド化のビジョンは。</p> <p>○ キャリング・ウォーター・プロジェクト事業推進のために設立される財団の①目的、②果たす役割、③具体的な事業は。</p> <p>○ 企業誘致と環境保全のコンセンサスは。</p> <p>○ 人口減少と水インフラをどのように考えるか。</p> <p>○ 国民共有の貴重な財産と位置付けられた地下水の保全を住民にどのように啓発していくのか。</p>
		<p>2 図書館について</p> <p>○ 市街地以外の方への図書貸し出しはどのように行っているのか。</p> <p>○ 社会教育の向上及び地域を支える情報拠点として大野市が目指す図書館とは。</p>

質問者	質問方式	質問概要
松田（創生おおの）	一問一答方式	<p>1 大野市小中学校再編計画（素案）関連について</p> <p>世界に類を見ない、人口減少・少子高齢化の進行により、大野市も地域コミュニティの存続が危ぶまれ、厳しい状況の中で活力を創っていかねばならないことは、私たち共通の認識である。</p> <p>確かな世界観のもとで、高い志を持ち、自立し、人と協調しながら挑戦できるたくましい力が求められ、その基礎を築くのが初等中等教育の役割であり、教育はまさに地域社会のエンジンであるといわれている。</p> <p>大野市小中学校の再編計画は、これからの大野市にとって非常に重要なステージであり、市民と協働しつつ慎重な審議が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働についてどのように考えるか。 ○ 大野市の少子化・人口減少に対応した活力ある学校づくりをどのように進めるのか。 ○ 特に和泉小中学校の再編計画について、なぜ学校配置をなくすことにするのか。 ○ 頂いた市民のご意見について、今後どのように反映させるのか。
堀田（立志会）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野創生について</p> <p>地域間競争を勝ち抜くための独創性と実効性といった点で、どのように評価し、取り組んでいくのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人口の在り方について <ul style="list-style-type: none"> ・成果検証（チェック）していくためには、持続的な調査実施体制、手法の確立、判断基準の設定などを行うべきではないかと考えるが、見解は。 ・人口減少や少子高齢化社会の進行に伴い地域コミュニティの存続が危ぶまれている中、住民の生活に必要なサービス機能を集約化し、ネットワークを持たせるコミュニティの形成についての検討は。 ○ 国・県との連携について <ul style="list-style-type: none"> ・大野創生の取り組みをより実効性のあるものにするための県や国との連携は。 <p>2 湧水文化の再生と地下水の保全と雪に強いまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 越前おおの湧水文化再生計画について <ul style="list-style-type: none"> ・この計画の進捗状況をどのように評価されているか。また、河川維持流量の更新・増加はあるのか。 ・冬期間に水田湛水を実施しているが、水田湛水の効果は。また、現在の水田湛水実施面積は。 ○ 地下水保全基金について <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の寄付の現状は。 ○ 雪に強いまちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・流雪溝に流れる水量増加の取り組みについて、どのような取り組みをしているのか。 ○ 城下町南広場整備事業の地下調整池について <ul style="list-style-type: none"> ・貯留雨水の排水管理計画は。

質問者	質問方式	質問概要
山崎（新生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 ふるさと納税について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふるさと納税における理念とは、どのようなものか。 ○ 大野市における現状は。 ○ 大野市として、どのようなPR活動を行っているのか。 ○ ポータルサイトの利用状況は。 ○ クレジットカード支払いの利用状況は。 ○ ふるさと納税における地域活性化を、どのように考えているのか。
		<p>2 選挙パスポートの導入について</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最近の投票率を、どのように考えておられるのか。 ○ 公職選挙法が改正され、来年の参議院選挙から18歳以上に選挙権が与えられるが、大野市としてはどのように捉え、どのような対策を考えているのか。 ○ 山口県宇部市では、若者の投票率向上対策の一つとして『選挙パスポート』を作成し周知を図っているが、大野市において独自の対策は考えているのか。 ○ 各高校における対策はどのようなことを考えているのか。